

経営支援員と二人三脚



55人の経営支援員は地域の小規模・中小企業の経営改善と持続的発展に向け、支援を行っています。経営者とのコミュニケーションをしっかりと取りながら、課題の解決とさらなる発展に向けた支援活動を展開中。

ジュエリーの煌めきに 作り手の思いを添えて

日常から切り離された異空間の提供

以前は、住宅街の抜け道沿いの奥まったところに店舗があり、メインの通りから見えにくく、近所の人に「何をやっている店ですか?」と聞かれることもありました。昨年5月、京商との出会いをきっかけに補助金活用と資金調達のサポートを受け、駐車場として使っていたスペースまで店を広げて表側からの視認性を高めるとともに、ショールームと商談スペースを新たに設けるなど、外観や内装もリニューアルしました。

新しい店舗のコンセプトは、非日常空間の提供です。オープンな店内は落ち着きのあるウッド調の佇まい、壁はクリーム色で統一し、オレンジ色の暖かな明かりがアンティークな家具をほのかに照らし出す…。閑静な住宅街の中に、突然現れるヨーロッパの古い工房。そんな絵本のようなイメージを思い描いて、ホームページやネット広告等で情報発信したところ、「かわいい」「行ってみたい」と若い女性やカップルなどから注目を集めました。

「モノ消費からコト消費」中心のサービス展開

京商の支援を受けるにあたって、当社の強みが何かを改めて見直すきっかけとなりました。ジュエリーは単に高価な宝石ではなく、記念日の思い出だったり大切な人へのプレゼントだったり、特別な思いが込められています。商品や技術ではなく、お客様一人ひとりに寄り添い、ものづくりの背景にある思いやストーリーを提供するのが当社の役割ではないか…。そう考え、店舗のリニューアルを機に、彫金機材や設備を新たに導入し、従来から取り組んでいたリングの製作体験教室を充実させました。指輪のサイズや加工デザインが選べ、手頃な価格でオリジナル作品が作れるというもので、体験工房の独特の雰囲気と相まって、今まで関心はあったけれど敷居が高かった…という埋もれたお客様の掘り起こしにつながり、土日や休日では予約で一杯になることも少なくありません。

市場に商品があふれる時代だからこそ、「モノ消費からコト消費」中心のサービスがますます求められるようになるでしょう。今後は、新店舗の展開を含めて、京都ブランドをより前面に打ち出した取り組みを京商の支援で進めていこうと考えています。

結婚指輪の製作体験教室にも力を注いでいます。今年度、京商の補助金支援を受け、有名な結婚情報誌に広告を掲載することができました。関心はあるものごころで体験できるが分からないというお客様にアピールすることで、当社が提供するサービスの認知度を高め、新たな事業の柱に育てていきたいと思っています。



代表 坪内 セイジさん

企業概要



Akaneceブランドによるオリジナルジュエリーのほか、オーダージュエリーの提供、体験教室など幅広く展開。プラチナや銀などを鍛造して一つひとつ手作りする伝統工法と、CADや3Dプリンターなどを駆使してモダンなデザインを設計する最新の加工方法の両方に精通し、お客様のニーズに合わせてオンリーワンの商品を生み出している。

Atelier Akanece アトリエ アカネス

代表者/坪内 セイジ
住 所/京都市西京区桂良町13-98
T E L / 075-555-8476 U R L / <https://akanece.com/>